

元気・しんぞ

健康に関する情報をお届けします

母子愛着形成

生まれたばかりの赤ちゃんは、泣くこと、おっぱいを飲むこと、眠ることの繰り返しで、自分の欲求を示します。その欲求を満たしてくれるお母さんの存在を知り、しだいに愛着が育っていきます。そして、乳児期後半より、人見

知りや後追いなどの現象が目立ってきます。

この現象は、赤ちゃんにとって、実はとても大切な心の成長発達のひとつです。

赤ちゃんは、人見知りや後追いを十分することで、身近なお母さんへの愛着を形成し、関係を深めながら、人への基本的信頼感を育んでいきます。この時期に人と関わるための

土台作りをしているのです。

しかし、赤ちゃんが身近な人との関わりが少ない時には、この人見知りや後追いが、はつきりと現れない場合もあります。ですから、乳児期は、

「抱き癖」などを気にせず、充分に抱っこし、声をかけ、遊んであげましょう。

赤ちゃんは、何ととってもお母さんが大好きです。一番安心できるお母さんの声、そしてお父さんの声を毎日聞か

せてあげてください。きっと気持ち安らぎ、赤ちゃんもご機嫌になると思いますよ。



ジユディの

見たまま感じたまま

蒲郡市国際交流員 ☆ジユディ・ワシ

外国人？外人？外人さん？

みなさんに、ちょっと聞きたいことがあります。あなたには日本人ではない人のことを何と呼びますか？「外人」、「外国人」それとも、「外人さん」ですか？

私は日本人ではありません。



だから、日本にいる限り「外国から来た人」と呼ばれるのは、当然です。でも、一緒に仕事をしている人や一緒に遊んでくれる人から「外人（外人の人）」という風に使われたら、とてもショックです。同じ仕事をしているのに、一緒に楽しんでるのに、なぜ私

だけ違うの。と誤ってしまいます。もしかして、ただ「外国人」という言葉は長くて、言いにくいから「外人」と省略したのかもしれないが、さりげなく口からこぼれた言葉で傷ついている人が何人もいると思います。そして、一番嫌な呼び方は、「外人さん」という表現です。「さん」は尊敬を表す表現なのに、「外人」という言葉は逆です。「泥棒さん」と同じレベルになりませんか。そう考えてみると、

不思議ですよ。

世の中では、ひどい差別事件がいくつも起っています。自分には、関係ないと思っただけかもしれませんが、実は、みなさんの身近でも、みなさんが知っている範囲で、「差別」までとは言われなくても、同じようなことが起こっていると思えます。

アメリカで生まれた私も、どうぞ、同じ仲間に入れてください。